

関連科目〈こども関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
図画工作			17509	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
花房 雅剛	選択	2	公立博物館指導主事 公立小中学校教員			

授業の到達目標

図画工作科の目的と意義を理解し、教材研究の視点より作品作りを行う。表現の「造形遊び、絵や立体に表す」と「鑑賞」の領域を学び、知識・技能の習得と思考力・表現力等を高めるとともに地域資源の活用力を培う。このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

教材研究を視点とした作品作りをととし、用具や材料の基本的な扱いを学び、指導内容と指導方法を理解する。また、視聴覚教材や身の周りの作品、更に地域資源である博物館・美術館を活用し、鑑賞指導の方法を実践的に学ぶ。

授業計画

- 1 オリエンテーション 図画工作科の目標
- 2 カッターナイフやはさみ、彫刻刀等の用具・材料の安全な使い方の指導
- 3 造形あそびの教材づくりとその評価
- 4 造形あそびの材料と場所の活用方法
- 5 言葉と絵画表現のつながり
- 6 水彩絵具の使い方指導
- 7 色彩学習と配色
- 8 教科書の中の絵画的表現の探求
- 9 版画の仕組みと表現方法
- 10 いろいろな凸版版画の教材研究
- 11 多様な材料を用いた立体表現の教材研究
- 12 粘土を使った工作の教材研究
- 13 作品のデーター保存と身近なものの鑑賞
- 14 美術館・博物館を活用した鑑賞指導
- 15 まとめと定期テスト

授業の方法

講義と作品作り（教材研究）、授業作品や身近な展示物、美術館等での鑑賞を行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点70点 定期テスト30点。
評価の観点とは知識・技能、思考力・表現力等、学びに向かう姿勢である。

欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点減点。

テキスト

日本文教出版『図画工作科3・4上』『図画工作科3・4下』

参考図書

文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』

関連科目〈こども関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等英語			17511	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J・shineの小学校指導者認定コースにて10年以上の指導経験あり。			

授業の到達目標

小学校外国語活動・外国語科の学習指導の知識、第2言語習得の基礎的な知識、授業に必要な英語コミュニケーション能力、教材や評価の基礎知識を、小・中・高等学校の連携も視野に入れて身に付ける。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのI（知性）を養う。

授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」を踏まえた「5つの領域」及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法、小学校の外国語教育に必要な基礎的な知識を、以下の「授業計画」の具体的項目に従って身に付ける。毎回「10分間 Classroom English」を行う。

授業計画

- 1 小学校英語教育の目的(1)小学校学習指導要領の理解
- 2 小学校英語教育の目的(2)世界の言語政策事情
- 3 小学校英語教育の目的(3)異文化理解
- 4 小学校英語教育の目的(4)児童文学
- 5 第2言語習得研究(1)年齢と言語習得
- 6 第2言語習得研究(2)学習と環境
- 7 第2言語習得研究(3)学習者要因、指導者要因
- 8 第2言語習得研究(4)児童期の第2言語習得における語彙習得
- 9 第2言語習得研究(5)児童期の第2言語習得における文法習得
- 10 第2言語習得研究(6)児童期の第2言語習得における音声習得
- 11 技能の育成(1)リスニング
- 12 技能の育成(2)スピーキング
- 13 技能の育成(3)リーディング
- 14 技能の育成(4)ライティング
- 15 まとめ、小学校英語指導に求められる資質と能力

授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

欠席について

3分の2以上の出席が必要。

テキスト

テキストは授業内で購入すること。
適宜プリントを配布する。

参考図書

『小学校英語はじめる教科書 改訂版』吉田研作（監修）小川隆夫、東仁美（著） mpi松香フォニックス 2021
『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年
その他、必要に応じて、随時紹介する。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等図画工作科指導法			17737	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
花房 雅剛	選択	2	公立博物館指導主事 公立中学校教員			

授業の到達目標

小学校学習指導要領にある図画工作科の低・中・高学年それぞれの目標を理解し、教材研究や模擬授業等をとおして指導上必要な知識と技術を習得し、授業実践できる力を身に付けることが到達目標である。このクラスではKAISEIパーソナリティーのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

講義やディスカッション、模擬授業、教材研究をとおして図画工作科の指導内容や指導方法、評価等について学ぶ。鑑賞の分野では、視聴覚機材及び博物館、美術館等を活用し鑑賞指導のあり方を学ぶ。

授業計画

- 1 学習指導要領にある図画工作科の目標等と役割
- 2 図画工作科の年間計画、授業設計、指導案の作り方
- 3 思考の継続化を図る図画工作科としての横断的学習の授業設計
- 4 図画工作科と他教科の横断的学習に視点をあてた教材研究と模擬授業
- 5 図画工作科としての言語活動と評価
- 6 絵画の表現形式
- 7 絵画表現に関する教材研究と模擬授業「感じるを表現する」
- 8 版画の種類と仕組み、用具の安全な使い方
- 9 版画の表現技法に関する指導方法と授業改善の視点
- 10 様々な材料、用具を使った立体・工作の表現
- 11 立体・工作に関する用具の安全な使用方法
- 12 造形遊びに関する用具や材料の使用方法和場所の活用方法
- 13 身近な作品や展示物、美術館を活用した効果的な鑑賞指導と授業設計
- 14 美術館での効果的な鑑賞指導
- 15 まとめと定期テスト

授業の方法

講義と作品制作（教材研究）、美術館等での作品鑑賞を中心とする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点70％定期試験30％の割合で評価する。評価の観点は知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう姿勢等である。

欠席について

欠席1回について3点減点、遅刻1回について1点減点

テキスト

日本文教出版『図画工作3・4上』『図画工作3・4下』

参考図書

文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等家庭科指導法			17741	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
浅井 由美	選択	2				

授業の到達目標

小学校における家庭科教育に必要な実践的指導力を身に付ける。学習指導要領に示された小学校家庭科の目標と内容、その指導上の留意点を理解する。小学校家庭科とその背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。小学校家庭科の学習指導の理論と方法を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行うことができる。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

小学校家庭科の目標と内容、家庭科教育のために必要な学習指導の理論と方法、教材研究などを学ぶ。さらに、子どもの発達段階や生活実態を踏まえた、また情報機器及び教材を活用した授業設計と学習指導案の作成を学び、模擬授業を行う。

授業計画

- 1 小学校家庭科の目標と内容
- 2 「家族・家庭生活」「衣食住の生活」に関する指導上の留意点
- 3 「消費生活・環境」に関する指導上の留意点
- 4 小学校家庭科の評価
- 5 「家族・家庭生活」「衣食住の生活」に関する教材研究
- 6 「消費生活・環境」に関する教材研究
- 7 子どもの発達・生活と家庭科教育
- 8 小学校家庭科の施設・設備（情報機器含む）
- 9 小学校家庭科の学習指導の理論と方法
- 10 小学校家庭科の学習指導計画
- 11 小学校家庭科の学習指導案の作成
- 12 「家族・家庭生活」「衣食住の生活」の模擬授業
- 13 「消費生活・環境」の模擬授業
- 14 模擬授業の検討・改善
- 15 まとめ

授業の方法

講義に加えて、ディスカッションと模擬授業をとりいれる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、授業中にフィードバックを行う。平常点30％、定期試験70％

欠席について

欠席1回につき3点減点する。

テキスト

文部科学省『小学校学習指導要領解説 家庭編』東洋館出版

参考図書

必要に応じて授業中に指示する。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲し板を確認のこと。